

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅳ				加藤 好雄	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	2 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>学科の目的は「社会科学の各分野を統合した教育により、北近畿地域において強く求められている、地域社会の再生、企業活動の活性化を目指して、実践的能力を活用できる人材を育成する」とされている。</p> <p>近年、社会や企業が求める最も必要な能力として「複雑な課題解決能力」が挙げられるが、この能力に必要なものとして思考法や経営学・マーケティングの知識をベースとした課題解決の手法がある。またその解決案は客観的な根拠（データ）に基づいていなければならない、そのために必要なのがデータ分析の知識・能力になる</p> <p>本授業では、課題解決に必要なことを学ぶための入門として思考法や事例における課題解決の手法、そしてデータ分析の基礎概念を学ぶ。また今後の就職活動を意識し、経済学や経営学の知識をもとにした業界分析や企業分析を行うことで、卒業後意識し続けなければならない「仕事（ビジネス）」について考える機会とする。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>本授業では、以下の4点の知識・能力を習得することを目的とする。</p> <p>①思考法の基礎を理解している。 ②課題解決の手法の基礎を理解している。 ③データ分析の基礎概念を理解している。 ④経済学・経営学の知識をもとに業界・企業分析ができる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス＋社会が求める能力と大学で身につける能力				
第 2 回	柔軟な思考 (固定概念と向かい合う)				
第 3 回	批判的思考法 (○○○○○は本当に必要?)				
第 4 回	課題解決の手法				
第 5 回	業界・企業分析の手法				
第 6 回	業界・企業分析の実際				
第 7 回	経営学の基礎概念				
第 8 回	事例に対する課題解決の手法① (経営戦略・組織の分野)				
第 9 回	マーケティングの基礎概念				
第 10 回	事例に対する課題解決の手法② (マーケティングの分野)				
第 11 回	業界・企業分析の発表①				
第 12 回	業界・企業分析の発表②				
第 13 回	データ分析の基礎概念①				
第 14 回	データ分析の基礎概念②				
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>マーケティング、データ分析等の初めて学ぶ分野の予習・復習や業界・企業分析の資料作成は授業時間外で行う必要がある。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
平常点 課題	(60%) (40%)	秀：「授業の到達目標」を非常に高いレベルで満たしている。 優：「授業の到達目標」を高いレベルで満たしている。 良：「授業の到達目標」を十分に満たしている。 可：「授業の到達目標」を満たしている。 不可：「授業の到達目標」を満たしていない。
テキスト (Textbook)		必要な資料は配布する。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		必要な資料は配布する。
備考 (Other Information)		実際のビジネスをでは、企業経営における知識や理論だけでは足らず、管理、法務、情報システム、財務・会計、政策、業界等の多岐にわたる知識が必要になるため、講義や資格取得等を通して幅広く知識を習得すること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		第1回目の講義で説明する。